

稲グリ新聞

(発行) 早稲大学グリークラブOB会
稲門グリークラブ
〒169 東京都新宿区西早稲田
1-1-7早稲田文化センター内
TEL.(03) 3208-2711

(編集) 加藤 晴生
額原 信二郎
佐々木 豊
石川 了
〒208 武蔵村山市大南
2-26-12額原信二郎方
TEL.(0425) 65-1839
(毎月1回発行) 定価100円

OB会・会員登録キャンペーン

相変わらず多い引落し不能口座

会費納入状況の中間報告とお願い

財務 杉浦忠武(三七)

平成四年度OB会会費の銀行口座からの第一回目の自動引落しは、三月二十七日に行われました。結果は下の表の通りです。

この結果をご覧の通り、引落し不能件数が非常に多くなっています。

す。その原因は、各個人が稲グリ会の財務に申請している口座の残高不足と、預金取り引きなしとなっているものが半々で、ほぼ大勢を占めています。これは、転勤、転居等により口座を解約したり、睡眠口座になってしまっているケ

《第1回OB会会費徴収》銀行口座引落し状況

引落し請求件数	317件
同 金額	3,475,000円
引落し件数	287件
同 金額	3,000,000円
引落し不能件数	50件
同 金額	475,000円

以上、三月二十七日の銀行引落しによる会費の納入状況についていします。

杉浦までご連絡下さるようお願いいたします。

稲グリ・活動日程

4月21日(火)	学生の家	18:30~21:00	雨(堀指揮者)
28日(火)	"	"	"
5月5日(火・祝)	練習休み		
12日(火)	学生の家	18:30~21:00	十の詩曲
19日(火)	"	"	雨
26日(火)	"	"	雨(堀指揮者)
30日(土)	奉仕園sec	16:00~20:00	Negro, 十の詩曲
6月2日(火)	学生の家	18:30~21:00	十の詩曲
7日(日)	特ステ	熱海道遙祭	熱海市観光会館 打上げ~熱海後楽園ホテル
9日(火)	学生の家	18:00~21:00	Negro
16日(火)	"	"	"
21日(日)	奉仕園sec	14:00~18:00	Negro, 雨
23日(火)	学生の家	18:30~21:00	雨(堀指揮者)
30日(火)	"	"	十の詩曲
7月7日(火)	"	"	"
14日(火)	"	"	記念ステージ曲
18日(土)	奉仕園	17:00~20:00	十の詩曲
19日(日)	場所未定	10:30~16:00	Negro, 雨(堀)
21日(火)	学生の家	18:30~21:00	記念ステージ曲
28日(火)	"	"	Negro
8月11日(火)	夏休み(この日のみ練習休み)		
22日(土), 23日(日)	特別練習 時間、場所未定。		
9月5日(土)~6日(日)	「定演強化合宿」河口湖サニービレッジ		
10月3日(土)	第24回・稲グリ定期演奏会	東京芸術劇場 「打上げ」サンシャインシティ・プリンスホテル	
9日(金)	特ステ	神奈川県稲門会	(横浜)
18日(日) or 25日(日)	特ステ	早稲田校友大会	
12月未定	平成4年度「総会」 第11回グリークリスマス	会場未定	
19日(土)	コーラス・イン・マリオン	朝日ホール	

とりあえずご報告いたしました。引落し不能分については、四月二十七日(第二回)、五月二十七日(第三回)にも再引落しが行われますので、よろしくお願いいたします。

なお、引落し不能や、その他の会費未納の会員には今後個々に連絡して、会費納入をお願いいたしますのでご協力下さい。

トップ新パトリに 石川了さん(六一) 就任

今年度のトップテノール・パトリダーであった永井秀夫さん(四二)の多忙による辞任に伴い、幹事会では後任の人選を進めていたが、このほど昭和六十一年卒の石川了さんがこの役を引き受けてくれることとなり、四月十七日付で就任した。

このところ他のパートに比べてメンバーが少なくなっているトップテノールを盛り返すべく頑張るとのこと。若手OB諸君には、是非石川さんを盛り立ててほしいもの。

「熱海道遙祭」出演きまる

六月七日(日) 温泉つき打上げが楽しみ

熱海道遙祭主催による、第十三回「熱海道遙祭」への出演依頼が今年も熱海後楽園社長・岡武秀さん(二九)を通じて稲グリにあり、出演が決定された。

六月七日(日)熱海市観光会館。他の出演者は、山本健二さん(三一)、岡さんのお嬢さんの範子さん、熱海少年少女合唱団。終演後は、例によって後楽園ホテルで温泉つき打上げとなる。(担当額原)

出席記録

	3/17	24	31	4/7	14
T ₁	9	10	9	9	10
T ₂	9	9	12	10	9
B ₁	14	12	18	14	15
B ₂	20	22	17	18	23
	52	53	56	51	57

松崎(留年改め大学院へ進学)
(佐賀から東京へ転勤)
森 建介(四一)
大江 匡昭(三五)
須藤 亮(四五)
木村 寿広(四二)
鈴木 和博(四二)
岡野 高広(四二)
山口 清隆(四六)
日和佐省一(四六)
T₁ 初あるいは含んでいない(ただし左表には現役は含んでいない)

練習状況

四月十四日(火)までの練習では「雨」の練習も「十の詩曲」も一通りさらり終わり、今後の練習ではほとんど譜を落とし、曲想をつけたりしていき、とは言っても、音取りやリズムの不完全な部分や、言葉のつかない部分、指揮者のテンポについていけない部分などがまだ少なからずあり、これから本番の練習で一言「ええなあ、チラホラ効果的や」といって反省および爆笑の練習場は四月から大久保の「学生の家」に変わったが、常時五十人台の出席数をキープし好評。「十の詩曲」もあるのでは、現役の参加も珍しくなく、現役は含んでいない(ただし左表には現役は含んでいない)

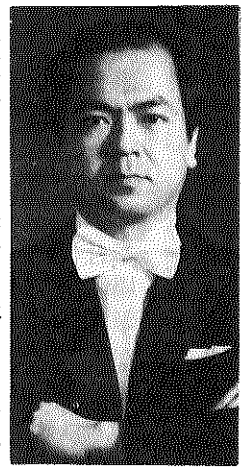
第24回稲グリ定期演奏会

1992.10.3(土)東京芸術劇場(池袋西口)

～各ステージ指揮者の弁～

お久し振り「多田武彦」

組曲「雨」ステージ指揮者 堀 俊輔(五〇)



随分前から、稲グリ四十周年記念演奏会では「雨」と決めていた。多田武彦の曲集の中では、最も音楽的にまとまっていて、雨という普遍的な題材が気に入っていたからだ。

大学時代の懐かしい思い出がまつている曲でもある。下手くそのカルテントを組んで、「雨の日の遊動円木」や「雨の日に見る」などを、ボン女下の新江戸川公園(細川公園)で歌ったものだ。定演の時、好きだった「武蔵野の雨」をアンコールにして、伝統を汚すなどOBに叱られたこともあった。そのように「雨」生活には、いつも多田武彦の楽譜があった。楽譜は単純で、むずかしい所は一つ

もない。雀荘待ちのひと時、「やろうか」という声と共に歌い出せば、気持ちの良いハモリがもうそこに生まれる。誰の心にもある懐かしいもの、優しいものをソツと呼び起こしてくれるのだ。詩というジャンルに全く縁のなかった僕が、書店の詩集の棚の前に足を止めることを覚えたのもその頃からである。

多田武彦の作品は、創造的センスの素晴らしさもさることながら男声合唱の秘密もチャンとつかんでいる。現役の時、その秘密に肉迫する演奏を訪ね歩いた。ライバル校のプログラムを見て、ワイガナやプログラムの歴史的大作曲家の珠玉の作品がいくら並べてあっても何ともなかつた。多田作品があるとは、折角出かけて行って、ナヨナヨした学指揮が振っていることが多かった。多田武彦はシロートのものではないんだ。不思議なことに、専門

《第24回稲門グリークラブ定期演奏会》

～プログラム～

(ステージ順一部未定)

- I 組曲「雨」
 - 作曲=多田武彦
 - 指揮=堀 俊輔
 - (作詩)
 - 1 雨の来る前 伊藤 整
 - 2 武蔵野の雨 大木 惇夫
 - 3 雨の日の遊動円木
 - 4 雨、雨 尾形 亀之介
 - 5 雨の日に見る 大木 惇夫
 - 6 雨 八木 重吉
- II 「十の詩曲」より五つの男声合唱曲
 - 作曲=ショスタコヴィチ
 - 編曲=福永陽一郎
 - 作詞=安田 二郎
 - 指揮=山本 正洋
 - 1 雄々しく進もう
 - 2 死刑の戦士
 - 3 怒りの日
 - 4 鎮魂歌
 - 5 歌
- III ニグロ・スピリチュアルズ
 - 指揮=長沢 護
 - 1 Let My People Go
 - 2 Wade in de Water
 - 3 Ride the Chariot
 - 4 Live A Humble
 - 5 Someone Is Calling My Name (Hush)
 - 6 Give Me Jesus
 - (曲順未定)
- IV 40周年記念ステージ
 - 演出=北代 博 司会=柿沼 郭
 - 指揮=磯部 徹、耕納 邦雄ほか
 - 特別出演=岡村 喬生
 - 山本 健二
 - ボニー ジャックス
 - 稲グリ～「稲グリエール」
 - 「Sailing Sailing」
 - 「斎太郎節」ほか



「十の詩曲」ステージ指揮者 山本正洋(五七)

の指揮者の中で多田武彦の作品を演奏した人はまずいない。それは僕には好都合なのだ。多田武彦の

ハートニーを實際経験したことを、僕は密かな自信としてこの業界を生きている。

四十周年記念定期演奏会という稲グリにとって一つの節目ともいえる重要な演奏会で指揮をさせていただきます。若い人も心から楽しめる稲グリの実現の一助となり得る良い機会であると捉えています。

「十の詩曲」は、故福永陽一郎先生の編曲した数ある男声合唱曲の中でも名曲中の名曲で、普通の合唱団では演奏困難といういわくつきの曲です。ですがそれだけに、名演を実現したときの感動は、演奏者、聴衆ともに非常に大きく、記念定演に相応しい本格的なステージたり得ると確信しております。さて、これまで二回練習させていただきましたが、皆さんの記憶力には本当に驚きました。定演でするので、他に重要な三ステージがあり、練習の量的バランスが難しいところですが、皆さんの集中力をもってすれば、今度も「十の詩曲」の成功は間違いなしです。

私事サラリマン十年目で転職したばかりの身ですので、なかなか練習にも出席できずご迷惑をおかけしてはいますが、「十の詩曲」の練習だけでも皆勤を目指していきます。一回一回、効率的、効果的、且つ楽しい練習を実現すべく努力していきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。そして本番では、東京のお客様を心底驚かせようではありませんか。

スピリチュアルズへの想い(その一)

「ニグロ」ステージ指揮者 長沢 護(三六)

黒人霊歌は、十七世紀から奴隷制度が廃止されるまで、アメリカの黒人奴隷によって歌い継がれてきたきわめて独創的な民謡であるが、歌詞の採取や、曲の編集が試みられたのは、一八六〇年代末、南北戦争以降のことである。奴隷解放後の一九七一年、黒人教育の最高機関でフィクソス大学の合唱団「ジュビリーシンガーズ」



が全米各地でスピリチュアルズ・コンサートを行ったことにより、スピリチュアルは世に知られるようになった。そして一九二〇年代に出現した黒人名歌手ロラント・ヘイズ、ポール・ロブソン、マリオン・アンダーソンや少数の優れたアレクサンダー達により、スピリチュアルズは民族音楽から芸術音楽へと格上げされ、世界中でその真価が認められたのである。折しもスピリチュアルをルーツとするジャズの流行とあいまって一大ブームとなり、一九四〇年代には頂点に達した。特にアンダーソンは「一〇〇年に一度の声(トスカニニ)」と豊かな表現力をもつて生涯を通じスピリチュアル

を歌い続け、世界中の人々に深い感動を与えたのである。さらにアンダーソンは人種差別の壁をも破り、一九三九年、聖地とされるワシントン・リンカーン記念堂での野外独唱会、そして一九五五年、オペラのメッカともいわれるメトロポリタン歌劇場で、黒人として初めてオペラ(仮面舞踏会)に出演、絶賛を博した。当時のニューヨーク・タイムズは「それはアンダーソンの勝利だけにとどまらず、芸術全体の勝利であった。」と述べ、さらに「このことは他の黒人歌手への門戸が大きく開かれたことを示すものである。」と記している。

この言葉は、翌シーズンから実行され、レオン・スタイン・プライス、サイモン・エステスや近年のキャスリーン・パトル、ジェシーノーマンなど多くの黒人歌手が世界の検舞台に登場する機会を得るようになった。これらの黒人歌手のほとんどが、聴衆の熱烈な要望によって、リサイタルの中心にスピリチュアルズを配置し、絶賛を博していることはご存じのとおりである。

スピリチュアルズのスタイルは、時代とともに変わっている。また当然ながら歌手の声質やアレンジにより表現は異なる。かつてスピリチュアルズでの最初の黄金時代を築いたアンダーソンの深い敬けんな祈りに胸を打たれた人々も、現代の自由で奔放なパトルやノーマンのスピリチュアルズにより新鮮さを感じるのも当然である。スピリチュアルズの伝統は、このような優れたアーティストに育まれてその姿を変えながら成長を遂げ、いまや第二の「黄金時代」を迎えつつある。

《第四回稲グリ幹事会・議事録》

◆三月十三日(金)

午後六時半～九時半

◆会長、幹事長以下十八名出席

◆議事

1. 二四定演関係

(1) チケット担当者決定

清水 実さん(三八)

土岡一郎さん(二三)

(2) 定演参加の呼びかけ強化

①四十五年卒以降の年度幹事

総会を開催し、輪を広げる。

担当：横尾内政(三七)

四月十一日(土)実施済み

②演奏部門(指揮者、パトリ

等)の結束強化、定演へ向

けての盛り上げ策検討のた

めの会を開催する。(五月

の連休中に予定?)

(3) プログラム
担当の徳田浩さん(三一)が
まとめた定演プログラムラフア
プラン(基本コンセプト)を提示
これについての各幹事のコメン
トは、そのまま徳田さんに申し
送りをし、参考にしてもらうこ
ととなる。

(4) 練習日程：一面揭示の通り
2. 海外演奏旅行
最近の交渉状況につき報告あり
(幹事長)。次回幹事会で訪問先
を決めることとなる。

3. その他
(1) 人事
①木村寛之さん(五三)の幹
事就任を承認。
②T・パトリ・永井秀夫さん
(四二)多忙のため、辞任。
但し企画幹事としては留任。
後任のパトリを人選すること
となる。

(2) 会員登録キャンペーンの内
容検討。稲グリの基礎財政の
確立のため、強力的に実施する
ことを確認。
(3) 愛唱歌集編集委員長より第
二集の制作予算の提示。発行
部数を五〇〇部とするか、一
〇〇〇部とするかの討議をし
たが、第一集の在庫確認の上
で次回幹事会で決定すること
とした。

(4) 総会・グリークリスマス
会場の都合により、十二月五
日以外とする。
(5) 四十周年記念グッズ製作
アイデアを募集する。
問合せ先：加藤幹事長
☎〇三三二二八五二四二二
又は〇四七一三二二五四二三
以上

プログラム広告ご出稿のお願い

創立40周年記念
第24回稲門グリークラブ定期演奏会プログラム A4判 28頁 3,000部
(サイズ)左右 天地(cm)
■表4、表3(カラー)全頁 21×29.6(以内) 300,000(円)
■本文 1頁 " 200,000
1/2頁 18×13(棒付き) 100,000
1/4頁 18×6 " 50,000
■お申込み締切=9月1日(火)完全版下にて。
■稲グリ・広告担当 穎原(えばら)(42)
連絡先=☎0425-65-1839(自宅) (勤)☎03-3202-4407

【ハミダシ情報】四月からは練習場が四ッ谷三丁目(東混練習場)から大久保(学生の家)に変更となったが、土岡一郎さん(二三)は四月七日、しっかりと四ッ谷経由で学生の家へ登場。「東混の階段を登っている最中に思い出したんですよ。頭ではわかってはいたつもりなのに体が慣れてしまっていたんですね。ヒッヒッヒッ」



右端筆者。メイクが成功して気持ち悪く仕上がっている。

秋田演奏旅行など新しい企画も飛び出す 四十五年卒以下・年度幹事総会

この秋の四十周年記念定演を成功させるべく、若手OBへの参加呼びかけを進めようと、四月十一日(土)夜、赤坂の稲門倶楽部で四十五年卒以降の年度幹事による総会が横尾内政(三七)のお世話で開かれた。大安の土曜日という設定であったために、若手幹事らの同期の結婚披露宴とぶつかったりしたこともあって、出席者は少なかったが、オブザーバーとして参加した会長以下の幹事連の定演にかける熱意は十分に感じ取ってもらった会となった。

大職員は、熱心に稲グリに対する抱負を語り、また、今沢哲朗さん(四五)からは、秋田演奏旅行の話も飛び出すなど活気を帯び一段と盛り上がった。若いエネルギーで稲グリの新企画も期待したいもの。

- 《出席者》
- 四五 今 沢 五五 高野
 - 四六 日和 佐 五三 土岡
 - 四七 安 斎 四四 山上
 - 以上

モーツァルト「魔笛」にソロ出演!! プロに混じって堂々の稲グリベースを披露したのだ!!

札幌からのOB便り

稲グリのお皆さん、お元気ですか? 小生、転勤で札幌に来て、早十か月が過ぎました。当地でも相変わらず歌の虫がおさまらず、地元市民のメンバーで構成されている「札幌アカデミー合唱団」に昨年十一月に入団しました。

布陣。本番は、平成三年十二月一日に北海道厚生年金会館で行われました。つまり、本番の二週間前にこの話が出されたわけですが、願ってもないチャンスと思いきや、二つ返事で引き受けてしまったのです。こうなると後は本番まで毎日テープにかじりついての生活になりますから、我が家では子供までソロの真似をするようになってしまいました。

B 篠松次郎(五四)

稲グリ有志、福祉学校の校歌をレコーディング、桜楓有志と合同で

高田馬場一帯に多くの校舎を持つ学校法人敬心学園の日本福祉教育専門学校に、このほど校歌ができた。入り、入学式に新入生に聞かせたいという事で、桜楓合唱団と稲グリにテープ録音の依頼があった。

長、ピアノストを含む十人、稲グリから志賀会長を含む八人、合計十八人が参加、途中から阿部君(五七)が急遽指揮を買って出て、練習の積りで歌い終わったところ、ご苦労様でしたといわれて唖然! 一時間程で録音は無事というか無理やりに終わったという感じになった。

伊東一郎さん(四七) 早大文学部教授に!!



四月一日付で、伊東一郎さん(昭和四十七年卒、母校文学部露文専修助教授)が晴れて教授に昇任された。物心ついた頃からロシア民謡に魅せられ、ロシア語とロシア文学を志して大学紛争で揺れる早大に入学。サークルはロシア民謡を歌うため「リハ」(しかし四年間演奏曲目に入らず)。卒業も修論も一貫してロシア民謡に関するテーマ。それらの研究が評価されて大阪国立民族学博物館のシニア民族学専門の助手となり、この頃大阪府にも参加。母校に専任講師として帰って来たのは昭和五十九年。その後、助教授に昇任。大学の研究・教育のかわら、ラジオ出演、モスクワ留学、文学部の教務副主任や教員組合の執行委員などの要職も務める驚異的な活躍ぶり。稲グリでも、四年前のサントリーホールでのロシア民謡や、二年前の訪ソ演奏旅行において必要不可欠の存在であったことは記憶に新しい。岡村喬生氏(二九)や堀俊輔氏(五〇)をはじめ稲グリメンから全幅の信頼を集めている。あ時にピアノの弾き語りもする、あのセカンドテノールの豊かな美声を聴きたくて、稲グリのリハーサルは伊東教授の初登場を心待ちにしている。

第41回東京六大学合唱連盟定期演奏会
1992. 5. 2 (土) 東京芸術劇場大ホール
開場/16:30 開演/17:30
5. 5 (火) 東京文化会館大ホール
開場/16:00 開演/17:00

早稲田大学グリークラブ
ミュージカル「ラ・マンチャの男」
指揮=黒岩英臣 ピアノ=久遠之宜
《六校合同》
「三群合唱のためのミサ」
指揮=皆川達夫

◆チケット S S席¥2,500 S席¥2,000 A席¥1,500

「ハミダシ情報」四月五日(木)夜、恒例の「お花見会」が不順な天候の続く中、いつもの千鳥ヶ淵公園で果敢に挙行され、ヤッパシ雨に当たって宴の後半はズブ濡れ。お楽しみ! 放歌高吟もあえなくボツ。泣く泣く解散となってしまった。天気の責任者出てこい!